

これまでの  
**意見交換の報告**

---

教職員・こども・保護者（地域）

# これまで実施してきた意見交換会について

---

## ① 教職員との対話会

日時 8/26 16:20~

場所 教育センター

参加者 小学校教諭：6名 中学校教諭：3名 事務局（教育委員会）：6名

主に、プロジェクト01  
「教職員：働くプロジェクト」に反映

## ② 給食（放課後）ミーティング

日時 6月～11月 給食の時間または放課後

場所 市内全中学校（9校）

参加者 各学校の生徒会の皆さん

主に、プロジェクト02  
「子ども：学ぶプロジェクト」に反映

## ③ こどもタウンミーティング（ロボッチャで学ぶ！わたしたちのまちの未来）

日時 8/2 9:10～13:30～

場所 コスモスパレット パレットⅡ 芸術ホール

参加者 市内の小学校に通う児童と保護者

主に、プロジェクト03  
「地域：共に育むプロジェクト」に反映

# 教職員：教職員との対話会

---

実施日 令和7年8月26日

参加者 小中学校教員9名

テーマ 「こどもたちの学びを充実させるために、先生方がより働きやすく、力を発揮できる環境や体制をつくるにはどうすればよいか」



## ■ 教員不足と人員体制について

### 先生方の声

#### ◆ スクールサポートスタッフの活用

- ・スクールサポートスタッフが時間を持て余している現状。有効活用が課題。具体的な活用方法を提示してほしい。

#### ◆ 教員のサポート体制

- ・担任を持たない教員やサポート教員（非常勤講師など）を配置してほしい。子育て世代の教員が急な休みを取る際に、担任を持たない教員がクラスに入れると学校運営が円滑になる。

#### ◆ 教員の不足

- ・免許外教員、特に技術科の教員が不足している。自分は数学の他に技術の授業を担当しているが、授業方法も試行錯誤の状態であり、プログラミングなど時代に合わせた教育に自信がない中で授業をしなければならない状況。

### 教育委員会の対応・方針等

#### ◆ スクールサポートスタッフの活用

- ・スクールサポートスタッフの運用手引きを作成中。管理職がスタッフと面談し、得意不得意を把握した上で活用を促すことが重要と認識している。

#### ◆ 教員のサポート体制

- ・小学校では担任を持たない教員（専科教員）の配置が少ない現状があり、県への要望を継続している。また、市雇用講師（サポート教員）を配置しているが、不足していることは認識している。他市の事例を研究し、予算化できるよう検討する。

#### ◆ 教員の不足

- ・技術教員の不足が中学校の人事編成における最大の課題である。免許外教員が多い学校への加配教員の優先配置や、印西市内の技術免許を持つ教員からの指導面での協力を依頼し、負担軽減を図る方針。

## ■ 負担と感じている業務について

### 先生方の声

#### ◆ 通知表の作成

- 通知表について、現在、前期と後期末に成績を作成し、学習や行動の所見も年2回記載している。市内統一で後期1回にすることで、教員の負担軽減に繋がる可能性があるのではないか。

#### ◆ テストの作成

- 中学校における定期テストの作成と採点は、教員にとって大きな負担となっている。テスト作成業務を業者委託してはどうか。
- 教員によってテストの難易度が異なると、生徒間で不公平が生じる可能性がある。公平性を保つため、統一テストの導入も検討すべきではないか。

### 教育委員会の対応・方針等

#### ◆ 通知表の作成

- 通知表について、中学校では今年度から所見を3月の1回に変更しており、小学校も同様の方向性で検討を進めている。年1回になる分、形式的ではなく、児童への思いが込められた質の高い所見作成をお願いしたい。

#### ◆ テストの作成

- 定期テストの作成について、特に資質・能力を測るテストの作成は非常に困難であり、教員の指導力とは別の次元の問題であると認識している。
- 統一テストの導入については、絶対評価に基づき、学習指導要領の狙いに沿った形で、生徒の資質・能力を適切に評価することが重要であると考える。業務委託は検討課題。

## ■ 勤務時間の見直しについて

### 先生方の声

#### ◆ 下校時刻の見直し

- 市内統一で下校時刻を見直し、放課後の時間を確保することで、児童への還元や教員のワークライフバランス改善に繋げたい。

#### ◆ 朝の勤務時間外の児童対応

- 児童の昇降口開場時間（7時35分）に対し、教員の勤務開始時間（8時45分）であり、教員の善意に頼っている現状。

#### ◆ 教員の働き方改革

- 「早く帰れ」と言われるが、学校でしかできない仕事が多く、特に異動がある4月・5月は業務が集中する。教員が新年度の準備にゆとりを持てるよう、夏休みを短縮するなどして始業日を遅らせることはできないか。

#### ◆ 勤務時間外の電話対応

- 保護者等からの電話対応について、17時以降に電話がかからない設定など、教員の拘束時間を減らす効果があると思う。

### 教育委員会の対応・方針等

#### ◆ 下校時刻の見直し

- 学校ごとの地域特性やこれまでの傾向を認識しつつ、下校時刻を早める流れを働き方改革の論点として検討する。

#### ◆ 朝の勤務時間外の児童対応

- セキュリティや児童の管理に関する課題が、シルバー人材センターの活用も検討していく。

#### ◆ 教員の働き方改革

- 早く帰ることが働き方改革ではない。管理職が教員のやりがいや心意気を尊重した働き方改革の推進を理解し、教員に過度な負担を強いない仕組み作りが必要。
- 夏休みの短縮は、熱中症対策や下校時の児童の負担も考慮し多角的に検討を進めていく必要があるため、事例研究していく。

#### ◆ 勤務時間外の電話対応

- 対応は検討していく。緊急時以外は勤務時間外に電話をかけない意識の定着も重要視したい。

## ■ 学校の環境整備について

### 先生方の声

#### ◆ 空調の整備

- 体育館に空調がないため、夏の使用が制限される。体力面で不安な児童が多く、安全面や学びの機会が損なわれている。

#### ◆ ICT環境

- 印西市の学校設備は、ロイロノートの活用、大型テレビやモニターの設置など、他市から見ても非常に充実している。
- インターネット回線環境が不安定で、システム不具合や児童の一斉アクセス時に接続不良が発生することがある。また、校庭では電波を拾えない。

#### ◆ 外国籍児童の対応

- 外国籍児童とのコミュニケーション支援のため、学校用のスマホに翻訳機能を持たせるなどが必要。

#### ◆ 施設修繕

- 雨漏りや壁の剥がれなどの老朽化が進んでおり、美術室の冷房設置や、武道場（剣道場）の修繕・改修が必要である。

### 教育委員会の対応・方針等

#### ◆ 空調の整備

- 小中学校の特別教室や体育館への空調については、令和10年までの早期設置を目指していく。

#### ◆ ICT環境

- 教育委員会でも帯域圧迫を認識しており改善を検討中。将来的には「日本一使いやすい環境」を目指す。

#### ◆ 外国籍児童の対応

- 翻訳機能については、令和8年度には児童用端末がiPadに変わり、翻訳アプリや生成AIツールを活用することで日本語指導の問題をクリアできる見込み。

#### ◆ 施設修繕

- 各学校の老朽化による修繕は予算に乗せて対応する。子どもが安心して学び、快適に活動できる環境を整えていく方針。

# 子ども：給食（放課後）ミーティング

実施日 令和7年6月～11月

参加者 全中学校（9校）生徒会のみなさん

テーマ 「学校・自分・学校以外のこれから学び」

※日頃の困りごと、こうなつたらいいな、将来の夢、これから挑戦したいことなど



## ■ 印西中学校（生徒会6名）



パソコンが壊れやすく修理にも時間がかかる。  
故障が少ないパソコンにしてほしい。

パソコンの更新にあわせて故障の少ない機器に変更します。

体育館にエアコンを設置してほしい。

中学校の体育館には令和10年度までに空調を設置する計画です。

将来は作曲家になりたい。つい聴いてしまうような、みんなに楽しんでもらえるような曲を作りたい。

応援しています。ぜひ、まちなか音楽祭に参加してください。



歴史の授業などで、模型など実際にその時代のものに触れながら考える授業ができると、知識だけではない観点から考えることができると思う。



歴史を学ぶとき、自分が住んでいる場所との繋がりを考えると面白いです。

将来の夢や目標が決まっていない。進路が心配。

今、夢があるからいいとか無いからダメではない。まずはいろいろなことを経験することが大事。たくさんの可能性を探るとこから始めればいいと思います。

部活動を頑張っている。地域移行になると制限ができてしまうのではないかと心配。

地域移行になつても同じように取り組める制度を考えていきます。

運動が得意な子も苦手な子もみんなが集まって体を動かせるような企画があるといい。他校の生徒と交流できるような授業があるといい。

部活動の地域移行もきっかけの一つ。その他にも、交流が図れる企画を検討します。



## こどもたちの声

02.学ぶプロジェクト  
施策④に反映

### ■ 学校の環境整備

- ◆ パソコンの故障が多く、修理に時間がかかる。予備機や故障しにくい機器を導入してほしい。
- ◆ Wi-Fi・インターネット環境が安定しない。接続が遅く授業に支障がある。
- ◆ 体育館や理科室、美術室など特別教室に空調を設置してほしい。
- ◆ プールが古くて故障が多い。日差しが強いので屋根を付けてほしい。
- ◆ ストーブが老朽化により壊れているものが多く、修理・更新してほしい。
- ◆ 熱中症対策として冷水器や自動販売機を設置してほしい。
- ◆ トイレの音が気になる。都内の学校にはトイレに音消しが設置してあるらしく、導入できないか。
- ◆ チョークを使うことで制服が汚れたり掃除が大変。黒板をホワイトボードや電子黒板に変えてほしい。





## ■ 学校生活・授業

02.学ぶプロジェクト  
施策①～④に  
反映

- ◆ 今の授業は、先生の話を聞いてノートに書くスタイル。話し合うのが好き。もっとグループワークを増やしてほしい。もっと参加型の授業になるといい。
- ◆ 何のために勉強しているか、それが将来何のつながるかを授業の中で日常に照らし合わせて教えてもらえると、勉強が好きになる。
- ◆ 印西市の問題などを知る機会があるといい。総合の時間に印西市について調べる授業をしてもいいと思う。
- ◆ 英検・数検などのサポートを学校でしてくれると受ける生徒も増えると思う。
- ◆ 校則で、体操服で登校できるクールビズ期間が決まっているが、もっと柔軟な対応など、時代に合った校則への変更したい。
- ◆ 海外派遣研修の経験から、逆に海外の生徒を招待して交流が図れるといい。
- ◆ 海外派遣研修に参加して海外の生徒と交流することで世界に興味を持った。もっとたくさんの生徒が体験できるといい。

## ■ その他の意見や提案（地域との交流・活性化）

- ◆ 木下にぎわい広場をこどもから大人まで楽しめるような場所にして、木下・大森地区の賑わいづくりにつなげてほしい。
- ◆ 地域活性化につながるお祭りがあるといい。たくさんのお客さんが来て印西市の知名度が上がると思う。
- ◆ もっとスポーツイベントなどの取り組みを活性化させれば、市外からも人が来て印西市が盛り上がると思う。
- ◆ 地域の方々と交流できる機会があるといい。
- ◆ 夏休みにボランティア活動に参加した。様々な団体や年代の人とコミュニケーションが取れてとてもいい経験になった。学校や地域でボランティアに参加できたり、例えば高齢者の方など、いろんな方と交流できる仕組みがあるといい。





## ■ その他の要望・提案（環境整備・制度）

- ◆ サッカーやラグビーの専門グラウンドがほしい。
- ◆ テニスを頑張っているが、雨の日は練習ができない。屋内施設があるといい。
- ◆ 部活が終わる時間にバスがなく、1時間近く学校で待つしかない。路線バスの運行を増やしてほしい。
- ◆ 通学路に草が茂っていて危険。
- ◆ 印西市は人口規模に対して、子どもの遊び場や病院が少ないと思う。
- ◆ 飲食店などお店がない。みんなで集まれる場所や、支所や図書館に生徒同士で教えあいながら勉強できるスペースがほしい。
- ◆ 牧の原付近にいろんな世代の人が集まったり勉強したりできるスペースがほしい。そういう場所があればシニア世代と交流できてシニア世代の方の生きがいにもなると思う。
- ◆ 保育士が不足している。保育士になりたい人を増やせれば、待機児童が減つて住みやすい街になると思う。

## ■ 将来の夢・挑戦したこと

海外派遣研修での体験から、いつか海外で働きたい！

今はバレー部だけど高校では弓道をやってみたい！チームプレーのスポーツも好きだが弓道を通してもっと自分と向き合うことをしたい

小さいころ体が弱くお医者さんにお世話になつたので自分も医者になりたい！

読書が好き！小説家になりたい

将来の夢は政治家！受験勉強を頑張って政治の歴史も学んでいきたい

市長になって選挙の投票率を100%にしたい政治に興味を持つてもらい、投票してもらうことが大事だと思う

学校の団結力を高めるために生徒会でクイズ大会を企画している



# 保護者：こどもタウンミーティング (ロボッチャで学ぶ！わたしたちのまちの未来)

---

実施日 令和7年8月2日

参加者 市内の小学校に通う児童とその保護者

テーマ 「印西市のこれからの教育を考えよう」

※ロボッチャを活用したDX教育を体験しながらこれからの印西市の教育を考える



### ■ こどもたちが生き生きと学べる学校とは？

- ◆ いろいろな体験学習ができて、想像力を膨らませられるような楽しい学校。
- ◆ こども達が自分のペースで主体的に取り組んで困った時に助け合ったり、周囲の大人にサポートを求められる環境。
- ◆ こどもたちが自発的にやりたいことを選べる環境であってほしい。
- ◆ 楽しんで学校に行けることが大事。学校に行ったらワクワクする気持ちが持てるような授業やサポートがあるといい。
- ◆ 色々な個性のこどもがいても、みんながお互いを認めあえる学校。
- ◆ 今回のロボッチャのように、将来プログラミングを身近に感じられる授業が増えるといい。
- ◆ イベントなど、学校・地域・親子の一体感を増やすことができれば生き生きと学べる安心な学校になるのでは。





## ■ こどもたちが安心して学べる学校とは？

- ◆ 学年関係なく協力して、遊びや生活できる学校。
- ◆ 各個人のペースや個性が自然と尊重される教室づくりが必要。
- ◆ 障がいのある子ではなく、個性として、障がいのあるなしに問わらず個を尊重するのが良いのではないか。
- ◆ 叱るべきことは叱っていただく上で、失敗することを推奨してもらえる環境。
- ◆ 失敗が恥ではなく、成長の一歩とわかりあえる環境。
- ◆ 安心して登下校できる環境。
- ◆ 担任の先生の負担が大きすぎるのは保護者の目から見ても明らか。こどもたちが楽しめる学校、そして先生も楽しんで教育できる環境にしてほしい。
- ◆ 安心できる人間関係がある場所。いじめを見逃さない、信頼できる大人がいる場所。
- ◆ 設備のメンテナンスや改善を行い、安心して過ごせる環境。

## ■ 地域全体で子どもの学びを支える仕組みとは？

- ◆ 地域全体に関しては、現在、朝等の見守りたいなどをして頂いており、地域との強いつながりを感じている。
- ◆ 16:30～は民間の力の活用。放課後や休日に学校施設を活用した遊びや学びの場・プログラムがあるとうれしい。
- ◆ 様々な市民活動団体があるので、学校ともっと連携できたらいいと思う。
- ◆ 世代を超えたコミュニケーションが取れていれば、自然と見守る環境になるのは。
- ◆ フレンドリープラザやササンプラザ、コスモスパレットなど、子どもが学校以外でも集まる場所や学べる機会がもっと欲しい。
- ◆ 企業（官民一体）による教育機会があるといい。DC関連の企業からITに関する授業を開いてほしい。
- ◆ 今回のロボッチャのように、プロジェクト型学習など、実社会とのつながりを実感できる、などの仕組み。



## ■ その他、教育に関するこ

- ◆ 「みんなで幸せになりたい」「だれ1人とりのこしたくない」と心から思える子に育ってほしいし、そのために、最新技術を使いたい！と思う子が育ってほしい。
- ◆ こどもに対して大人の数（教員など）が少ないので、細かいところまで目が届いてない気がします。1人1人の個性を楽しめる環境作りが必要。
- ◆ 不登校のこども、学校に居場所を探しているこどもをもっとサポートしていただきたいと思う。
- ◆ 今日のようなワークショップの開催機会を増やしてほしい。印西はこの様なイベントがよくあって楽しい。

